

実務で役立つ！見出し構造設計テンプレート & チェックリスト

このテンプレートは、Web コンテンツ作成時における見出し構造の設計を効率化し、SEO とユーザーの読みやすさを両立させるために作成されました。記事の執筆前にこのテンプレートを活用し、コンテンツの「骨組み」をしっかりと構築することで、一貫性のある高品質な記事作成をサポートします。

テンプレートの使い方

- 1 **記事のテーマと目的を明確にする**: まず、この記事で何を伝えたいのか、誰に読んでほしいのかを明確にします。
 - 2 **H1 (記事タイトル) を決定する**: 記事全体の主題となる H1 を考えます。
 - 3 **H2 (主要なセクション) を洗い出す**: H1 を構成する主要なトピックを H2 として列挙します。
 - 4 **H3 (詳細な項目) を整理する**: 各 H2 の下に、さらに詳細な説明が必要な項目を H3 として配置します。
 - 5 **チェックリストで確認する**: 最後に、作成した見出し構造が SEO と読みやすさの観点から適切であるかをチェックリストで確認します。
-

1. 記事のテーマと H1（主題）の設計

記事のテーマ（例：見出し構造と SEO の関係）：

H1（記事タイトル）：

- キーワード: 記事で最も伝えたいキーワードを含める。
 - 簡潔性: ページの主題を端的に表す。
 - 唯一性: 1 ページに 1 つのみ使用する。
-

2. H2（主要なセクション）の設計

H1 で設定した主題を、いくつかの主要なセクションに分割します。これらは記事の「目次」となる部分です。

H2 の例：

- ## なぜ「見出し構造」が SEO と運用に不可欠なのか
 - ## H1～H3 タグの役割と使い分け
 - ## プロが実践する「構造の整え方」3つのステップ
 - ## 現場でよくある「見出し構造」の誤りと対策
 - ## 読みやすさと SEO を両立させるコツ
-

3. H3（詳細な項目）の設計

各 H2 の下に、そのセクションをさらに細分化する詳細な項目を H3 として配置します。H2 の内容を具体的に説明する役割を担います。

H3 の例（H2「H1～H3 タグの役割と使い分け」の下に配置）：

- ### H1：ページの主題（看板）
- ### H2：主要なトピック（目次）
- ### H3：詳細な補足（小見出し）

見出し構造チェックリスト

作成した見出し構造が適切であるか、以下の項目で確認しましょう。

項目	確認内容	チェック	備考
H1			
1 ページに 1 つか？	記事の主題を明確に示しているか？	<input type="checkbox"/>	
記事のテーマを正確に表しているか？	読者の検索意図と合致しているか？	<input type="checkbox"/>	
不自然なキーワードの羅列になっていないか？	自然な文章で、かつ重要なキーワードを含んでいるか？	<input type="checkbox"/>	
H2			
記事の主要なセクションを網羅しているか？	記事全体の内容を把握できる目次として機能しているか？	<input type="checkbox"/>	
H1 の内容を適切に分割しているか？	各 H2 が独立したトピックとして成立しているか？	<input type="checkbox"/>	
H3			
H2 の内容を具体的に補足しているか？	H2 の下に配置され、さらに詳細な情報を提供しているか？	<input type="checkbox"/>	
H2 のトピックと関連性が高いか？	論理的な階層構造を保っているか？	<input type="checkbox"/>	

項目	確認内容	チェック	備考
全体			
階層順序 (H1→H2→H3...) は守られているか？	階層を飛ばして使用していないか？	[]	
見出しだけで記事の内容が推測できるか？	読者が「拾い読み」した際に、必要な情報を見つけやすいか？	[]	
専門用語は適切に補足されているか？	ターゲット読者にとって分かりやすい表現か？	[]	
不自然なキーワードスタッフィングはないか？	読みにくさを感じさせないか？	[]	
モバイルでの表示を意識した簡潔な表現か？	長すぎる見出しで途切れてしまわないか？	[]	
デザイン (文字サイズ) で選んでいないか？	見た目ではなく、意味と構造でタグを選んでいるか？	[]	

補足：テンプレート使用時のポイント

- **柔軟な活用:** このテンプレートはあくまでガイドラインです。コンテンツの内容や目的に応じて柔軟に調整してください。
- **ユーザー視点:** 常に「読者が最も分かりやすいか」という視点で見出しを設計することが重要です。
- **定期的な見直し:** 公開後も、アクセス解析データなどをもとに見出し構造の効果を検証し、必要に応じて改善を行いましょう。

このテンプレートが、あなたの Web コンテンツ作成の一助となれば幸いです。